令和　7　年度

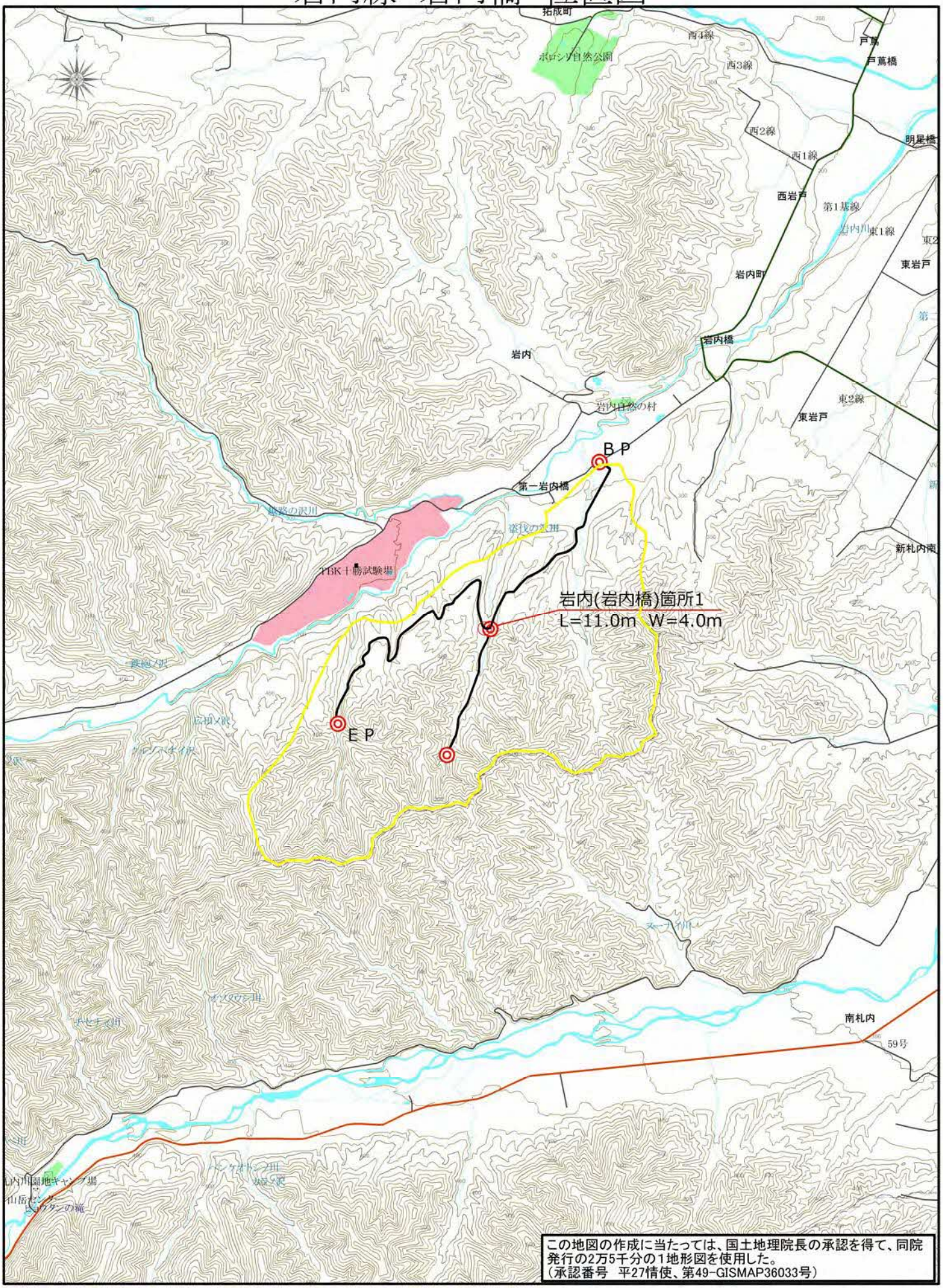
林　道　橋　補　修　設　計　委　託　　設　計　書

北海道　帯広市

設　計　説　明　書

委託業務名	林道橋補修設計委託
業務箇所	帯広市岩内町
業務数量	設計業務 ： 実施設計　　林道橋3橋
設計金額	円　（うち消費税相当額　　円　）
業務期間	契約締結日 の翌日 ～ 令和7年12月10日
その他特記事項	

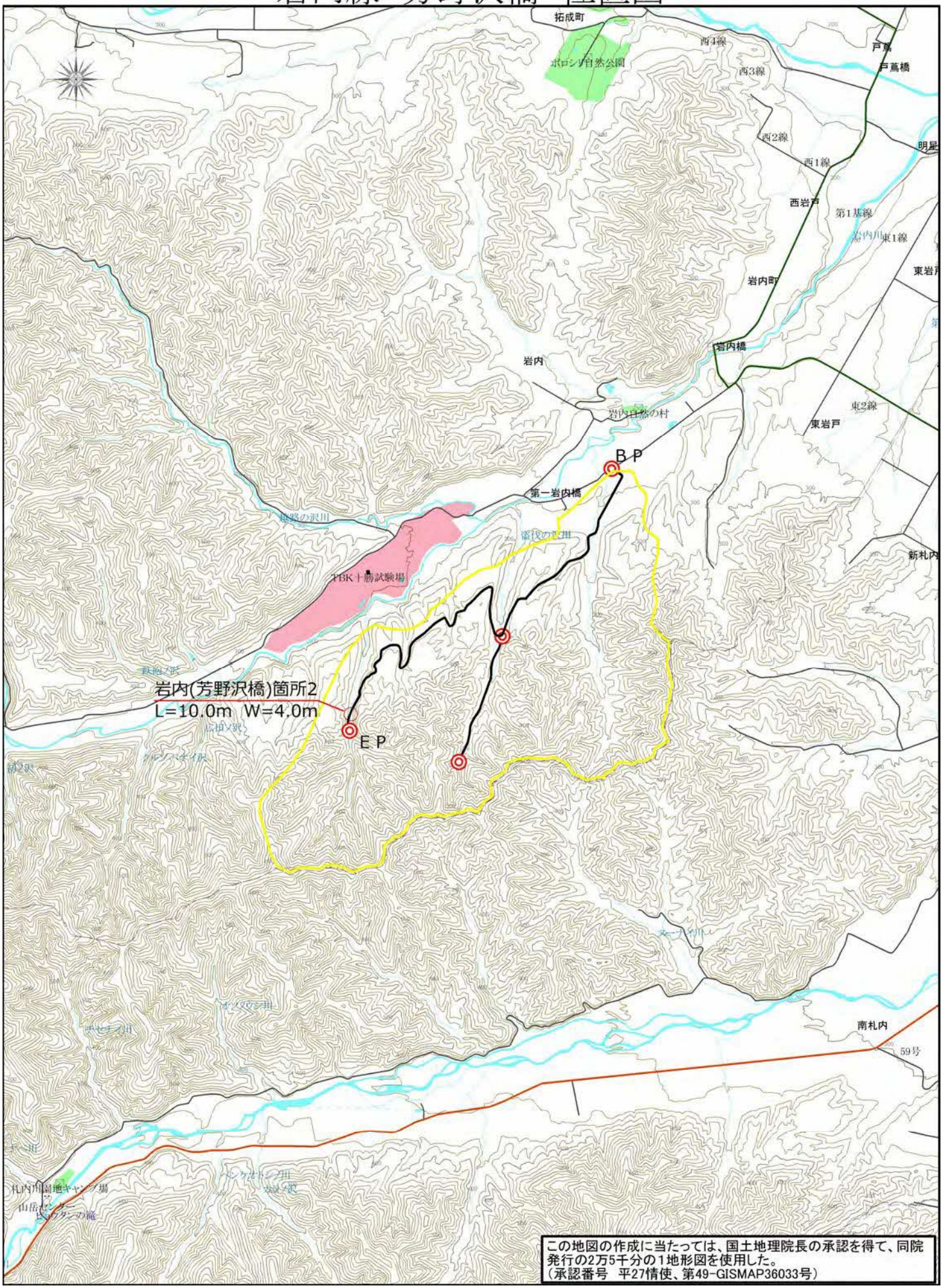
岩内線　岩内橋　位置図



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用した。
（承認番号　平27情使、第49-GISMAP36033号）

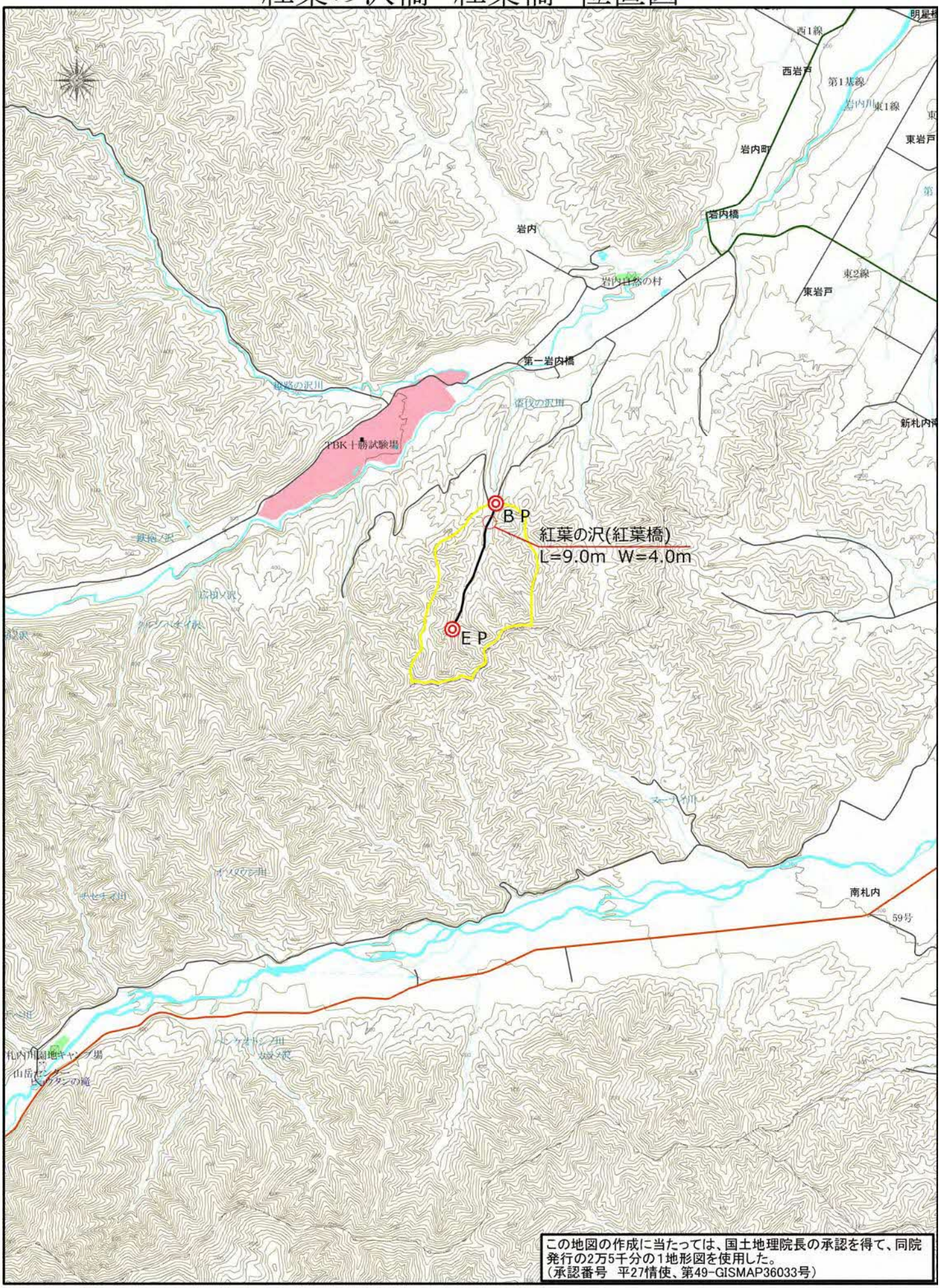
1：50000

岩内線　芳野沢橋　位置図



1 : 50000

紅葉の沢橋　紅葉橋　位置図



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用した。
（承認番号　平27情使、第49-GISMAP36033号）

1：50000

委　託　特　記　仕　様　書

北　海　道　　帯　広　市

（　　農　政　部　　農　村　振　興　課　　）

２０２５．７

目　　次

1.　委託名 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ－ 1

2.　委託概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ－ 1

3.　委託箇所 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ－ 1

4.　土木工事積算基準等　　・・・・・・・・・・・Ｐ－ 1

5.　積算情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ－ 1

6.　適用 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ－ 1

7.　一般事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ－ 1

8.　管理技術者等の資格について　・・・・・・・・・Ｐ－ 2

9.　照査技術者に係わる発注者への通知について ・Ｐ－ 2

10.　業務計画書の作成について ・・・・・・・・・・・Ｐ－ 2

11.　貸与する図書等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ－ 3

12.　成果品等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ－ 3

13.　状況報告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ－ 3

14.　その他 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ－ 3

本特記仕様書は、次の委託に適用する（項目上の□中に○があるものが適用される。なお、□が無いものは、常に適用される。）

１．　委　託　名　　：　林道橋補修設計委託

２．　委 託 概 要

本業務において、□に○の記載があるものが該当する業務及び測量業務担当である。

□　測量業務　：

○　設計業務　：　実施設計　　林道橋　３橋

□　調査業務　：

３．　委 託 箇 所

帯広市岩内町

４．　土木工事積算基準等

1　本設計図書は北海道水産林務部が制定した「森林土木事業標準歩掛表（測量試験）」に基づき作成している。

５．　積算情報

本業務の業務期間は、下記のとおりである。

業　務　期　間　：契約締結日の翌日～令和７年12月10日

６．　適　　用

1　特記仕様書及び設計図書に記載されていない事項については、北海道水産林務部制定の『北海道森林土木工事測量調査設計業務等共通仕様書（最新版）』（以下共通仕様書という。）または、北海道水産林務部監修「林道事業設計指針」等により設計を行うこと。

2　２.の□に○のある業務に適用する共通仕様書は、次のとおりとする。

業　務　名	適　用　仕　様　書
測量業務	測量業務共通仕様書
設計業務	設計業務共通仕様書
調査業務	調査業務共通仕様書

各仕様書間で相違がある場合の取り扱いは、業務担当員の指示によるものとする。

なお、特記仕様書、設計図書及び共通仕様書に記載のない事項については、次の仕様書によること。仕様書間の相違等の扱いは上記と同様とする。

策　定　者	名　称
北海道水産林務部	北海道水産林務部森林土木工事共通仕様書

3　2の各共通仕様書に記載されていない事項については、各共通仕様書に関係する各要綱、示方書及び指針等に準拠することとする。その適用にあたっては、その都度業務担当員と協議すること。業務にあたって疑義、不明な点があれば、同様に協議すること。

７．　一 般 事 項

1　業務実施中は、交通、保安に万全を期すとともに、第三者に損害を与えた場合は受託者の責任により解決するものとする。

2　業務の実施にあたって、工作物の除去、検査に要する経費は受託者の負担とする。

3　民地の立ち入りについては、権利者の了解を得ること。

4　測量実施中関係官公庁署または地元と交渉を要する場合、若しくは交渉を受けた場合は業務担当員の指示を受けた関係者、甲、乙、三者立会のうえこれを処理するものとする。

5　永久基準点標が本工事を施工する際に支障となる場合、移設、廃止等の協議を道路管理者と行い、設計図書の整理をすること。

８．　管理技術者等の資格について

２.の委託概要の項目において、該当業務における管理技術者等の資格要件については、次のとおりとする。

~~複合の委託業務において、別に記載のある場合を除き、上位の業務の管理技術者を発注者に通知すること。（設計業務＞調査業務＞測量業務）~~

なお、各業務に対応する資格要件に管理技術者が該当しない業務がある場合は、当該業務に必要な資格要件を有する担当技術者を選任し、業務計画書に記載すること。

1 設計業務（管理技術者及び照査技術者の資格について）

管理技術者及び照査技術者は、技術士又はこれと同等の能力と経験を有する技術者あるいはシビルコンサルティングマネージャーの資格保有者でなければならない。なお、同等の能力と経験を有する技術者とは、次のいずれかに該当する者で発注者が認める者をいう

① 一級土木施工管理技士

② 学校教育法（昭和22年法律第26号）による大学卒業者にあっては、建設コンサルタント等業務について13年以上の実務経験を有する者。

③ 学校教育法による短期大学若しくは高等専門学校卒業者にあっては、建設コンサルタント等業務について15年以上の実務経験を有する者。

④ 学校教育法による高等学校卒業者にあっては、建設コンサルタント等業務について17年以上の実務経験を有する者。

⑤ 上記各項に掲げるものと同等以上の知識及び技術を有する者。

注） 照査技術者の資格は、委託業務に照査が含まれる場合に適用される。

~~2 測量業務（管理技術者の資格について）~~

~~管理技術者は、測量士の資格保有者でなければならない。~~

９．　照査技術者に係る発注者への通知について

本業務を行うにあたっては照査技術者を定め、発注者に通知するとともに、業務の中間段階及び終了時において照査を行った状況を記載した記録簿を提出すること。

なお、照査技術者を定める業務は以下のとおりとする。

1　対象範囲

設計業務において、重要構造物等の詳細設計を行う場合を対象とする。

2　対象構造物

①林道の全体計画調査

②土留、擁壁工

③地すべり防止工

④橋梁

⑤トンネル

１０．　業務計画書の作成について

1　受託者は、契約後すみやかに公示用設計図書の検討、現場確認、関係機関への届け出、業務担当員との打合せを行い、契約後１５日以内に提出すること。これによりがたいときは、別途協議すること。この場合、提出できない理由書及び説明資料を提出すること。

2　提出しなければ、業務着手(外業)をしてはならない。ただし、業務担当員の承諾を得た場合は、この限りではない。

3　業務計画書に、共通仕様書等に記載のある項目について具体的な作業手順、具体的な作業方法、当該委託で留意すべき事項を記載すること。

4　段階確認事項(特記仕様書等で指示のある箇所)を業務担当員と確認のうえ業務計画書に記載すること。

5　段階確認事項(特記仕様書等で指示のある箇所以外)を業務担当員と協議のうえ業務計画書に記載すること。

6　業務計画書で変更になる部分は、すみやかに業務担当員に提出すること。

１１．　貸与する図書等

1　　適宜貸与する。

１２．　成 果 品 等

1　提出成果品は、別紙のとおりとする。

成果品の提出にあたり、電子媒体に記録したものを次に留意の上併せて提出すること

ア　図面はＣＡＤソフトを使用して作図し「ＪＷＣＡＤ」で編集可能なこと。
また、レイヤの分類は別表の「ＣＡＤ製図レイヤ分類表」によること。

イ　電子媒体は、ＣＤ－ＲＯＭを原則とし、これ以外の電子媒体、規格については業務担当員の承諾を得るものとする。

2　「施工特記仕様書」

森林土木工事共通仕様書に記載されていない事項がある場合に記載すること。また、これを参考に実施設計書図書の特記仕様書が作成できるようになっていること。

3　「図面」

材料の規格、材質、強度、仕様等は、図面上に明記すること。また、構造物線の寸法線は強弱を持たせるなど、数値が何処を指定してるのか明確にすること。

4　「報告書」

報告書は、設計業務の条件、特に考慮した事項、コントロールポイント、検討内容、施工性、上位計画等との整合性、経済性、耐久性、美観、自然環境、社会環境等の要件を適確に解説し取りまとめるものとする。

また、標準的な施工計画・仮設計画についても作成するものとする。

その他、報告の概要として、設計の条件、地形、地質条件、法令の規制、安全で合理的な維持管理上支障が少ない事等判るものを本編から抜粋により作成したものを別途提出すること。

設計に用いた基準、指針、示法書等の何処の何を根拠に使用したか明らかにし、第三者に求められた場合等に、直ちに説明出来るよう整理・製本し提出すること。

１３．　状 況 報 告

1　少なくても二週に一度、業務の進捗状況を報告すること。
2　方法は、対面、ＦＡＸ、メール等による。

１４．　そ　の　他

疑義が生じた場合は、その都度業務担当員と協議すること。

測量及び試験費内訳表

区　　分	名　　称	種　　別	数 量	単位	単　価	直接人件費	金　額	明細表番号	備　　考
設計業務価格									
[直接原価]	橋梁補修設計		1.00	箇所				明細表 No.1	
	橋梁補修設計		2.00	箇所				明細表 No.2	
	打合せ協議		1.00	業務				51-07-300	中間打合せ回数2回
	旅費交通費		1.00	式				明細表 No.3	
	電子成果品 作　成　費		1.00	式				要領第4章 第2部第2-2	
	計								
[間接原価]	その他原価		53.85	%					直接人件費×α/(1-α) α=0.35
[業務原価 計]									
[一般管理費等]			53.85	%					業務原価×β/(1-β) β=0.35
計									

測量及び試験費内訳表

区　　分	名　　称	種　　別	数 量	単位	単　価	直接人件費	金　額	明細表番号	備　　考
調査業務価格 一般調査業務費									
調査業務価格 解析等調査業務費									
測量業務価格									
設計業務価格	（再掲）								
業務委託価格									万単位止
消費税等相当額			10.00	%					
業務委託料									

No.1　　橋梁補修設計　　明 細 表

名　　称	種　　別	形状寸法	数 量	単位	補正	単　価	直接人件費	金　　額	明細表番号	備　　考
橋梁補修設計			1.00	式						
損傷箇所の確認調査	内業		(1.00 1.00	径間) 式	1.00				54-25-120	
〃	外業		(1.00 1.00	径間) 式	1.00				〃	
全体図及び一般図の作成			1.00	橋	1.00				55-30-120	
小 計										

No.1　　橋梁補修設計　　明 細 表

名　　称	種　　別	形状寸法	数 量	単位	補正	単　価	直接人件費	金　　額	明細表番号	備　　考
地覆補修設計			(1.00 1.00	径間) 式	1.00				54-25-1120	
橋面防水設計			(1.00 1.00	径間) 式	1.00				54-25-1220	
下部工補修設計			(1.00 1.00	基) 式	1.00				54-25-1320	
施　工　計　画			(1.00 1.00	橋) 式	1.00				54-25-1420	
〃　数量計算	延長～100m		(1.00 1.00	橋) 式	0.80				54-08-100	設計延長-0.2及び電算機使用料2%含む
〃　照　　査			(1.00 1.00	橋) 式	0.80				〃	〃
小 計										
計										
千円未満切捨										

No.2　　橋梁補修設計　　明 細 表

名　　称	種　　別	形状寸法	数 量	単位	補正	単　価	直接人件費	金　　額	明細表番号	備　　考
橋梁補修設計			1.00	式						
損傷箇所の確認調査	内業		(1.00 1.00	径間) 式	1.00				54-25-120	
〃	外業		(1.00 1.00	径間) 式	1.00				〃	
全体図及び一般図の作成			1.00	橋	1.00				55-30-120	
小 計										

No.2　　橋梁補修設計　　明 細 表

名　　称	種　　別	形状寸法	数 量	単位	補正	単　価	直接人件費	金　　額	明細表番号	備　　考
橋面防水設計			(1.00 1.00	径間) 式	1.00				54-25-1220	
下部工補修設計			(1.00 1.00	基) 式	1.00				54-25-1320	
施　工　計　画			(1.00 1.00	橋) 式	1.00				54-25-1420	
〃　数量計算	延長～100m		(1.00 1.00	橋) 式	0.80				54-08-100	設計延長-0.2及び電算機使用料2%含む
〃　照　　査			(1.00 1.00	橋) 式	0.80				〃	〃
小 計										
計										
千円未満切捨										

No.3　　旅費交通費　　明 細 表

名　　称	種　　別	形状寸法	数 量	単位	補正	単　価	直接人件費	金　　額	明細表番号	備　　考
旅 費 交 通 費			1.00	式						起　点A:帯広市 現　場C:帯広市
交　　通　　費	AC間 ライトバン運転		1.00	往復	1.00				51-06-200	
計										
千円未満切捨										